

女川原子力発電所 環境調査測定技術会における 報告資料の構成の変更について

宮城県復興・危機管理部

原子力安全対策課

環境放射線監視センター

1 課題の整理

- 「女川原子力発電所環境調査測定技術会」と「女川原子力発電所環境保全監視協議会」の報告資料において、『原子力発電所からの予期しない放出の監視』に係る図表の構成内容が異なっていた。
- 具体的には、
 - ・ 空間ガンマ線量率の評価結果（指標線量率及び調査レベル）の表の有無
 - ・ 海水中の全ガンマ線計数率の評価結果（調査レベル）の表の有無
 - ・ トレンドグラフ中の調査レベル設定線の有無
 - NaI(Tl)検出器による空間ガンマ線量率監視結果
 - 海水(放水)中の全ガンマ線計数率監視結果
- このため、資料の作成作業が煩雑となり、報告内容の確認を徹底してはいるものの、錯誤を誘引する要因となっていた。
- 今四半期の報告から、ダストモニタによる大気中の放射性物質の濃度の評価が新たに加わり、本報告についても技術会と協議会で報告する図表等が異なるため、報告資料の構成を変更する必要があると判断した。

2 構成の変更の概要－1

■ 『原子力発電所からの予期しない放出の監視』に関する図表については、「資料－1－3『原子力発電所からの予期しない放出の監視』に係る技術資料」にとりまとめ、当技術会で御評価を頂く。

■ 当技術資料における評価項目は以下のとおり。

- ・ モニタリングステーションにおける空間ガンマ線量率の評価結果

- 表：指標線量率、調査レベル

- 図：指標線量率のトレンドグラフ

- 調査レベルの線をひいた空間ガンマ線量率のトレンドグラフ

- ・ 放水口モニターによる海水中の全ガンマ線計数率の評価結果

- 表：調査レベル

- 図：調査レベルの線をひいた海水中の全ガンマ線計数率のトレンドグラフ

- ・ ダストモニタによる大気中の放射性物質の濃度の評価結果

- 表：人工全ベータ放射能濃度推定値

- 図：大気中の放射性物質の人工全ベータ放射能濃度推定値の推移グラフ

- 大気中の放射性物質の全アルファ・全ベータ放射能濃度の相関図

2 構成の変更の概要－2

■ 従来からの報告資料「女川原子力発電所環境放射能調査結果(案)」については、技術会と協議会で同一の資料とする。

項 目	掲載の図表
1 環境モニタリングの概要 (1) 調査機関 (2) 調査担当機関 (3) 調査項目	表－1 四半期調査実績
2 環境モニタリングの結果 (1) 原子力発電所からの予期しない放出の監視 ア モニタリングステーションにおけるNaI(Tl)検出器による空間ガンマ線量率 イ 海水（放水）中の全ガンマ線計数率 ウ ダストモニタによる 大気中の放射性物質の濃度	図－2 各MSのトレンドグラフ (調査レベル無し) 図－2 各放水口のトレンドグラフ (調査レベル無し) 図－2 各ダストモニタのトレンドグラフ (人工全ベータ放射能濃度推定値等無し)
(2) 周辺環境の保全の確認 ア 電離箱検出器による空間ガンマ線量率 イ 放射性物質の降下量 ウ 環境試料の放射性核種濃度	表－2 線量率の測定結果(電離箱) 表－2 環境試料の核種分析結果 図－2 降下物や環境試料の各放射性核種濃度の推移(トレンドグラフ)

3 構成の変更による改善点

- 技術会に特化した、評価項目をまとめた資料とすることにより、説明の効率化を図ることができる。
- 各評価項目に関係する技術的な根拠資料も、一つの資料にとりまとめることができ、算出方法等の疑義があった際に、丁寧な説明が可能となる。
- 職員の資料作成作業の省力化によって、ヒューマンエラーの防止につながる。